



〔拡大版〕

ごはんにして食べるのが楽しみ

ー比井小・稲刈り体験ー

9月8日(月)、比井小学校(玉置雅巳校長)の2年生と5年生児童ら合わせて15人が、地元農家の方の協力のもと、学校北側の水田で稲刈りを体験しました。

児童らは、農家の方から鎌の使い方や稲の刈り方を習ったあと、先生と一緒に稲刈りを開始。最初は慣れない作業に戸惑っていた児童らでしたが、慣れてくると順調に刈り進んでいました。さらに、稲を刈り終わると「なる掛け」を体験。力を合わせて、刈り取った稲を学校のフェンスに掛けていきました。体験に参加した5年生の北村夏香さんは「2年生の時に初めてやって、今回は2回目です。しんどかったけど、ご飯にして食べるのが楽しみです」と話していました。

今回稲刈りを体験した水田は、5月30日に同児童らが田植えをした場所で、夏の間は農家の方が世話をしてくれていたもの。収穫したお米は、キヌヒカリおよそ2俵で、一部を社会福祉協議会へ寄贈するほか、比井小祭や農家の方との食事会で振る舞う予定です。



シーズン直前！感謝の「クエ供養」

ー西山で旅館民宿組合が営むー

9月26日(金)、日高町旅館民宿組合(濱正彦組合長)が、西山ピクニック緑地のクエ供養碑前でクエ供養を営み、関係者ら12人が出席しました。

冒頭、濱組合長が「数多くの恩恵に深く感謝するとともに、他にまねの出来ないすばらしい『食』を提供いただいたクエに心からのご冥福をお祈りし、日高沖に回遊するクエの繁栄を念じます」とあいさつ。松本町長ら来賓のあいさつの後、鈴木悟峰・善宗寺住職の読経の中、出席者らが次々と焼香してクエの冥福と今シーズンの繁栄を願いました。

日高町では、クエ・フェアを皮切りに、本格的なクエ料理のシーズンを迎えます。



きしゅう君も登場！ —クエッコランド・交通安全教室—

9月18日(木)、和歌山県警察の協力のもと、クエッコランド(日高町子育て支援センター)を利用する乳幼児と保護者を対象に、交通安全教室を開催し、19組の親子合わせて44人が交通安全を学びました。

教室では、県警の安全教育係「ひまわり」が人形劇やパネルを使ったお片付けごっこ、しまじろうの交通安全DVD鑑賞で子供らと交流しました。また、保護者に対しては、子どもを車に乗せる際はチャイルドシートの活用を徹底するように伝えたほか、近隣の死亡事故事例を紹介して、外出している時は子どもから目を離さないようにと注意喚起をしました。

終わりにはきしゅう君が登場し、全員で横断歩道の渡り方を練習。床に貼った横断歩道マットの上を「右を見て、左を見て、もう一度右見て渡りましょう♪」というリズムカルな音楽に合わせて渡りました。



さすまたで応戦 —志賀小・不審者避難訓練—

9月26日(金)、志賀小学校(井本善也校長)において御坊警察署(笈一郎署長)の協力のもと、不審者避難訓練が実施されました。

訓練では、不審者役の警察官が4年生の教室に侵入。児童らは一斉に校庭に避難し、先生らがさすまたを使って不審者を取り押さえました。

また、校庭ではきしゅう君の家への駆け込み訓練を実施。参加した児童らは、不審者の特徴を細かく報告していました。



日高町職員採用試験を実施

9月21日(日)、町職員採用1次試験が町保健福祉総合センターで行われました。

試験には、採用予定人員4人程度に対し12人の応募があり、当日は10人が出席。実質競争率は、2.5倍でした。

受験者らは、午前には教養試験、適性検査、午後からは作文試験にと真剣な表情で取り組んでいました。

10月9日に発表された1次合格者は7人で、2次試験の面接を経て、11月上旬には最終合格者が発表されます。

